

2009年12月28日

内閣総理大臣 鳩山由紀夫 様  
国土交通大臣 前原 誠司 様

北海道脱ダムをめざす会

ダム検証のために、ダム推進派とダム批判派の両者を含む公開検討会を要望します  
——12月25日に示された政府のダム予算案についての見解と要望——

12月25日、新政権の鳩山内閣は来年度予算案を閣議決定し、前原国土交通大臣がダムの取り扱いを明らかにしました。それによりますと、私たちがその必要性に疑問を呈してきた天塩川水系サンルダムと沙流川水系平取ダムについては、検証の対象とされ予算がつきませんでした。同様にその必要性に大きな疑問のある石狩川水系当別ダムは本体工事が着工されているとみなされ、検証の対象となりませんでした。以下に、それに対する私たちの見解と要望を述べさせていただきます。

1. 私たちの見解

第一に、私たちは、サンルダムと平取ダムの必要性が検証されることについては高く評価しますが、当別ダムが本体着工を理由にして検証対象から外されたことには強く抗議します。

第二に、ダム検証の方法について私たちの見解を述べます。今までに示された前原大臣の見解によりますと、国交省に設置された有識者会議が治水基準を示し、その基準に沿って検証対象ダムごとに建設の是非を決めると考えられます。私たちは、国交省が責任を果たす上で治水基準を検討することには賛意を示しますが、個々のダムの必要性検証について霞ヶ関だけで決定されることに対しては異議があります。

ちなみに、川辺川ダム問題では熊本県のイニシャチブによってダム賛成派と反対派が公開討論会を行い、県民にとって問題点の所在が明らかになりました。北海道でも、千歳川放水路計画に際して北海道知事の諮問機関である千歳川流域治水対策検討委員会が開催され、上記と同様に推進派と反対派の意見が道民に明らかにされました。このような経過を経て結論が出される場合は多くの国民・道民も納得し、よりよい方向へ進むと考えられます。

第三に、有識者会議のあり方について以下が問題であると考えます。検討事項は治水が中心とされていますが、ダムには利水や河川環境・自然環境など幅広く検討すべき課題がありますので、検討課題を拡大すべきです。まして有識者会議を非公開で行うことは、その理由が国民に理解されず、情報公開が求められる今の時代に逆行します。私たちは有識者会議が公開のもとで行われることを要請します。

2. 公開討論会を要望します

サンルダムと平取ダムが混乱を来したことに最も責任のあるのは、北海道開発局です。ダム事業に責任をもつ開発局には、さまざまな道民の意見を聞いて、合意を作り出していく責任があり

ます。しかし、開発局はサンルダム推進団体とは会っても批判的な意見を持つ団体とは会わないという、恣意的な対応に終始してきました。さらなる例では、地元の下川町が「下川町の水害防止のためにサンルダムが必要」と決議をしたことに対して、開発局は事業責任者として、サンルダムが下流の名寄市の水害防止対策であり、下川町にとっては水害防止に役立たないことを説明せず、一方ではダムに批判的な意見は無視するという、公平な論議をさせない欠陥を示しました。北海道開発局は、道民全体への奉仕者としての公務員からなる組織であるので、上記の行動は決して許されないことです。目下の行動が続く限り、開発局にダム事業の責任を任せるわけにはいきません。開発局が公務員の本分を尽くし、地域住民や道民、専門家の意見を幅広く聞き、ダム事業の是非を判断しなければ、組織としての将来はないと考えます。

当別ダム事業に責任をもつ北海道知事もまた、上記とまったく同様に、公平な論議をさせない欠陥を示した行動を続けております。

以上の理由から、私たちはサンルダムと平取ダムはもとより、当別ダムについても、治水、利水および河川環境という河川法の目的に適合するかを検証する観点から、改めて公開の場で、推進派と反対派が論議し、合意を作り出す努力をすべきと考えます。貴職におかれましては、このための公開討論会を開催するよう、道開発局あるいは道に強く働きかけていただきたいと存じます。また、有識者会議を、これまでの官僚主導の委員会のように密室で行うのではなく、公開としたうえで、有識者会議が、検討の対象とする個別のダムについて検討するにあたっては、ダムの必要性に疑問をもち、ダムによらない治水を提案できる市民団体や専門家の意見を聞く場を設け、そこでの討論をふまえて結論を出していただきたいと要望します。

#### 北海道脱ダムをめざす会の構成団体

(社)北海道自然保護協会 会長 佐藤謙  
十勝自然保護協会 会長 安藤御史  
北海道自然保護連合 代表 寺島一男  
富川北一丁目沙流川被害者の会 代表 中村正晴  
平取ダム建設問題協議会 松井和男  
平取ダム建設で失われる自然を守る会 代表 中村智子  
苫小牧の自然を守る会 代表 館崎やよい  
ユウパリコザクラの会 代表 藤井純一  
イテキ・ウエンダム・シサムの会 代表 佐々木義治  
自然林再生ネットワーク 代表 前田菜穂子  
下川自然を考える会 会長 千葉永二  
サンルダム建設を考える集い 代表 渋谷静男  
環境ネットワーク旭川地球村 代表 山城えり子  
大雪と石狩の自然を守る会 代表 寺島一男  
北海道の森と川を語る会代表 小野 有五  
旭川・森と川ネット21 代表 平田一三  
当別ダム周辺の環境を考える市民連絡会 代表幹事 安藤加代子

(窓口連絡先 北海道自然保護協会：電話&FAX 011-251-5465)